

KENWOOD

VHF FM 無線電話装置

TCP-101

UHF FM 無線電話装置

TCP-201

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 **危険** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグを AC コンセントから抜け）を示しています。

- ・ お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠危険

使用環境・条件

- 引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリン等の可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。



バッテリーパックの取扱について

バッテリーパックは以下のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

- 充電温度範囲は、5℃～40℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。
- 専用充電器以外では充電しないでください。
- 本機以外の機器に取付けしないでください。
- 火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解しないでください。
- 端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 水の中に落した場合は使用しないでください。



- 液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。



- 液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。



⚠ 警告

使用環境・条件

- 交通安全上、運転しながら交信するのはおやめください。 
- 電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。 
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では、絶対に使用しないでください（電源も入れないでください）。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたすおそれがあります。 
- 本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。 

AC アダプターの取扱について

- AC100V 以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。 
- タコ足配線はしないでください。過熱・発火の原因となります。 
- 濡れた手で電源プラグに触れたり、電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。 
- 電源プラグは AC コンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの端子に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。 
- 電源プラグの端子にほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災や感電の原因になります。 

使用方法について

- 機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイククロホン等のケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。 
- 本機に水が入らないようご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。 

- 水などで濡れやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ストラップを持って、無線機を振り回さないでください。人に当たってけがを負わせたり、物に当たって無線機が破損することがあります。



異常時の処置について

- 内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損した場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの、異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 落下などにより破損した部品には直接触らないでください。怪我の原因となります。
- 煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、バッテリーパックを外し、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源スイッチを切り、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。



保守・点検

- 本機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

⚠️ 注意

使用環境・条件

- テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。 
- 直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。 
- 湿気が多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。 
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。 

充電器の取扱について

- 充電器のコードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電・故障の原因となることがあります。 
- 充電器の電源コードを抜くときは、必ずプラグを持ってください。コードを引っばると、コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。 

使用方法について

- アンテナを誤って目にささないようご注意ください。 
- スピーカー／マイクロホン端子にはオプションのイヤホン付きマイクロホンやヘッドセット、スピーカーマイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。 

- 乾燥した部屋やカーペットを敷いた廊下などでは静電気が発生しやすくなります。このような場所では、イヤホンを使用した時に静電気で耳の皮膚に電気ショックを感じる場合があります。静電気が発生しやすい場所ではイヤホンを使用しないか、スピーカーマイクロホンをご使用ください。
- 長期間使わないときは、電源スイッチを切り、バッテリーパックを外して、ACアダプターの電源プラグをACコンセントから抜いてください。
- イヤホンを使用するときは、電源を入れる前に音量ツマミを下げてください。聴覚障害の原因となることがあります。



保守・点検

- お手入れの際は、電源スイッチを切り、バッテリーパックや乾電池を外して、ACアダプターの電源プラグをACコンセントから抜いてください。
- 水滴が付いたら、乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。



免責事項について

本機の故障・誤動作などにより、利用の機会（通話など）を逸したために発生した障害などの付随的損害については、当社は一切その責任を負いかねます。

目次

安全上のご注意.....	2
--------------	---

ご使用の前に

準備する	10
付属品を確認する.....	10
バッテリーパックの取り付け／取り外し	10
充電のしかた.....	11
周波数の設定について	13
アンテナを取り付ける	15
ベルトクリップを取り付ける.....	15
スピーカー/マイクロホン端子にジャックカバーを取付ける.....	15
スピーカー/マイクロホン端子にオプションを接続する	15
各部の名称	16
本体	16

基本操作

通話する	17
待受受信操作.....	17
音量を調節する.....	17
送信操作	17
キーに割り当て可能な機能	18
PF キー 【Side 1】 / 【Side 2】 の割り当て機能.....	18
PF (プログラマブルファンクション)	19
キーロック / キーロックステータスメモリー	19
モニター / スケルチ OFF	19
スキャン	20
スキャン一時消去.....	20

応用操作

VOX 機能を使う	22
-----------------	----

VOX について	22
セレコール	24
セレコールについて	24
その他の機能	25

その他

運用上の注意	27
故障かな?と思ったら	28
オプション(別売品)について	29
保証とアフターサービス	30
仕様	31

機種一覧表

本書は下記の簡易無線機と一般業務用無線機を共通に説明しています。

簡易無線機

機種名	TCP-101	TCP-201
型式名	TCP-101CT	TCP-201CT
周波数帯	150MHz 帯	450MHz 帯
送信出力	1W/5W	1W/4W

簡易無線機は法令により自動識別装置(ATIS)を内蔵しています。

一般業務用無線機

機種名	TCP-101	TCP-201
型式名	TCP-101FT	TCP-201FT
周波数帯	150MHz 帯	450MHz 帯
送信出力	1W/5W	1W/4W

説明上の注釈表記について



このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。



このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

準備する

付属品を確認する

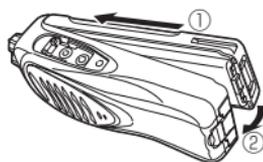
付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

・充電式リチウムイオンバッテリーパック (KNB-45L)	1
・充電器.....	1
・AC アダプター	1
・アンテナ	1
・スピーカー / マイクロホン端子カバー	1
・マイクプラグ固定ブラケット	1
・ベルトクリップ	1
・ネジセット	1
・保証書.....	1
・サービス一覧.....	1
・取扱説明書 (本書)	1

バッテリーパックの取り付け / 取り外し

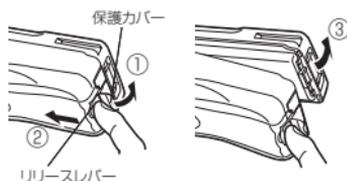
● 取り付ける

図のようにバッテリーパックを「カチッ」と音がするまではめ込み、リリースレバーをロックさせます。



● 取り外す

本体下部の保護カバーを開いて、リリースレバーを矢印の方向に押しながらバッテリーパックを取り外します。



バッテリーパックの特性について

- 充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 低温での充電時間は、室温時より長くなる場合があります。
- 高温状態で充放電を行ったり、無線機を使用すると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。

- バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが冷えてから使用してください。冷えても使用できない場合は、一度充電してください。使用できるようになります。
- 長期間保存後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。
- 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命です。このまま充電／放電を繰り返すと、液漏れの原因になることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。



Li-ion 00
充電式

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店、当社営業担当窓口または代理店へお持ちください。
リサイクルにご協力をお願いいたします。

使用済み充電式電池の取扱注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。



- バッテリーパック、充電器、ACアダプター、ベルトフックは専用の付属品を使用してください。
- お買い上げ時にバッテリーパックは満充電されていません。お使いになる前に必ず満充電にしてご使用ください。
- 長時間お使いにならないときは、バッテリーパックを本機から取り外してください。
- バッテリーパックの端子をショートさせたり、バッテリーパックを火中に投げたりしないでください。また、分解しないでください。

充電のしかた

はじめてお使いになるときや、使用後は必ず充電してください。

1 ACアダプターのDCプラグを充電器のDC IN端子に差し込む



2 ACアダプターのACプラグをACコンセントに差し込む

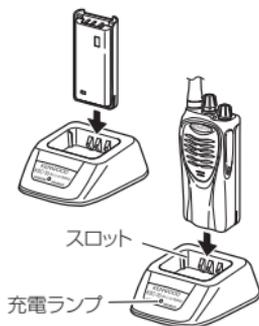
3 無線機またはバッテリーパック単体を充電器に差し込む

※無線機本体を充電器に差し込む時は、電源をOFFにしてください。

充電ランプが「赤」に点灯します。充電時間の目安は3時間です。

充電ランプの表示について

赤色：充電中 緑色：充電完了



4 充電ランプが「緑」に点灯して、充電が完了する

無線機またはバッテリーパックを抜き取ります。

充電ランプが点灯しない、または赤色点滅する場合は・・・

- 正しく差し込まれていない→再度差し込みなおしてください。
- バッテリーパックが異常である→新しいバッテリーパックを使用してください。
- 端子が接触不良になっている→端子を綿棒や乾いた布で拭いてから、再度充電してください。
- バッテリーパックが極端に高温または低温になっている→室温に戻してから、再度充電してください。



- 必ず専用のリチウムイオンバッテリーパックを使用して充電してください。指定以外のバッテリーパックを用いて充電すると故障の原因になります。
- 充電端子を金属物などでショートさせないでください。
- 本体やバッテリーパックが濡れたままで充電すると、故障の原因になります。本体やバッテリーパックが濡れているときは、乾いた布でよくふき取ってから充電器に差し込んでください。
- 充電器の端子は、ゴミなどが付着しないように綿棒や乾いたやわらかい布で時々拭いてください。
- 充電器の近くで無線機を使用すると、充電器が誤動作することがあります。

バッテリーの持続時間(目安)について

持続時間は送信5秒(送信出力Lowにて)、受信5秒、待受け90秒、バッテリーセーブ機能(→25ページ)ON/OFFの連続使用にてテスト使用した場合の室温時の目安です。

■リチウムイオンバッテリーパック(KNB-45L)の使用可能時間

バッテリーセーブあり(ON)：約21時間

バッテリーセーブなし(OFF)：約15時間

※バッテリーパックの使用可能時間は使用環境により上記とは異なる場合があります。

周波数の設定について

本機はお買い上げ時「簡易無線機」としての周波数が設定されており、TCP-101は許可されたVHF9波から任意の8波を、TCP-201は許可されたUHF35波から任意の16波を選択して設定できます。

お買い上げ時の設定の内容は、下の表(TCP-201は14ページ)をご覧ください。

表をご覧くださいになり、お買い上げ時の周波数以外の使用を希望される場合は、販売店にご相談ください。

表の網掛け部分(お買い上げいただいたときの設定状態)のいずれかと入れ替えて設定することによりご使用いただけます。

この場合、無線機の【CH】ツマミの表示番号と表のチャンネルNo.は対応しませんので、32ページ(裏表紙)の表に新たに設定された周波数をメモしておくとう便利です。

●TCP-101【お買い上げ時の設定周波数】

チャンネルNo.	無線機のチャンネルNo.	周波数(MHz)	備考
1 ch	1	154.4500	お買い上げいただいた状態でご使用できます。
2 ch	2	154.4700	
3 ch	3	154.4900	
4 ch	4	154.5100	
5 ch	5	154.5300	
6 ch	6	154.5500	
7 ch	7	154.5700	
8 ch	8	154.5900	
(9 ch)		154.6100	ご使用を希望される場合は、販売店にご相談ください。

● TCP-201 【お買い上げ時の設定周波数】

チャンネル No.	無線機のチャンネル No.	周波数 (MHz)	備考
1 ch	1	465.0375	お買い上げいただいた状態でご使用できます。
2 ch	2	465.0500	
3 ch	3	465.0625	
4 ch	4	465.0750	
5 ch	5	465.0875	
6 ch	6	465.1000	
7 ch	7	465.1125	
8 ch	8	465.1250	
9 ch	9	465.1375	
10 ch	10	465.1500	
11 ch	11	468.5500	
12 ch	12	468.5625	
13 ch	13	468.5750	
14 ch	14	468.5875	
15 ch	15	468.6000	
16 ch	16	468.6125	
(17 ch)		468.6250	ご使用を希望される場合は、販売店にご相談ください。
(18 ch)		468.6375	
(19 ch)		468.6500	
(20 ch)		468.6625	
(21 ch)		468.6750	
(22 ch)		468.6875	
(23 ch)		468.7000	
(24 ch)		468.7125	
(25 ch)		468.7250	
(26 ch)		468.7375	
(27 ch)		468.7500	
(28 ch)		468.7625	
(29 ch)		468.7750	
(30 ch)		468.7875	
(31 ch)		468.8000	
(32 ch)		468.8125	
(33 ch)		468.8250	
(34 ch)		468.8375	
(35 ch)		468.8500	

アンテナを取り付ける

アンテナの根元を持ち、本体上面のコネクタに時計方向(右)に固定されるまで回して確実に取り付けます。



ベルトクリップを取り付ける

ベルトクリップと本体のネジ穴を合わせて、付属のネジ(3mm × 8mm)で取り付けます。



市販品のストラップを取り付けたいときは

本体上部裏側のストラップ取り付け穴に、ストラップの紐を取り付けます。*:携帯電話用のストラップの場合、切れることがあるのでご注意ください。



スピーカー/マイクロホン端子にジャックカバーを取り付ける

オプションのスピーカーマイクやヘッドセットを使用しない場合は、付属のネジ(3mm × 6mm)を使用して取り付けます。



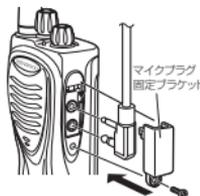
スピーカー/マイクロホン端子にオプションを接続する

スピーカーマイクやヘッドセットを接続したときは、端子から外れるのを防ぐために、マイクプラグ固定ブラケットを必ず取り付けてください。

1 スピーカーマイクまたはヘッドセットのプラグを接続する

2 マイクプラグ固定ブラケットを取り付ける

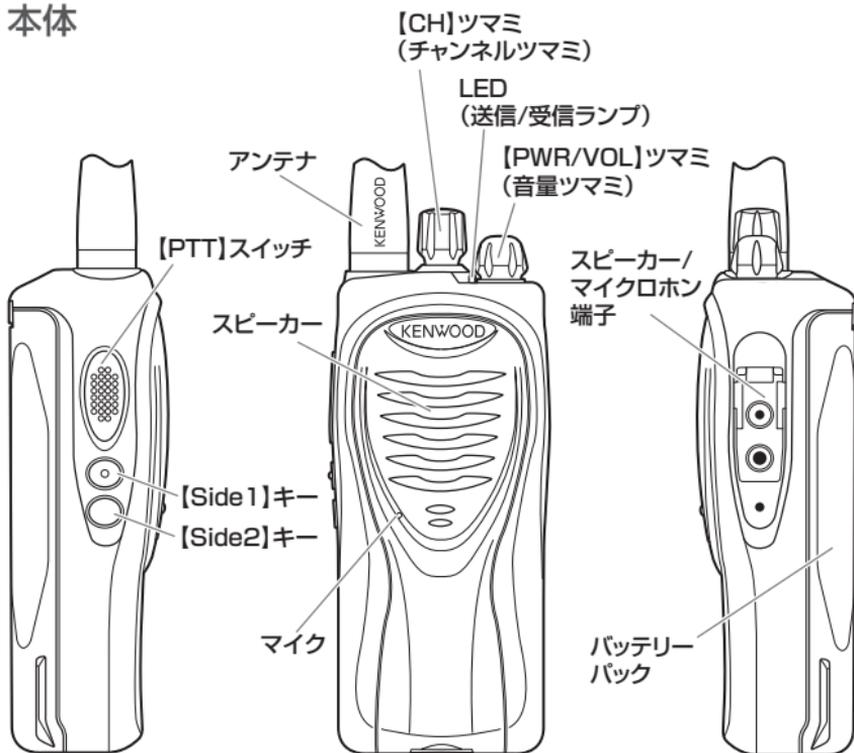
ブラケット前面にある爪をスピーカー/マイクロホン端子部分の溝に合わせてから、付属のネジ(3mm × 6mm)を使用して取り付けます。



- ジャックカバーを取り付けてないときは、スピーカー/マイクロホン端子は防水にはなりません。
- オプションを取り外すときは、プラグ部をしっかり持って取り外してください。ケーブルを持って取り外すと、断線の原因になります。

各部の名称

本体



キー/ツマミの名称	通常の動作
【PWR/VOL】	・電源 ON/OFF ・音量調節
【CH】	チャンネル切り替え
【PTT】	送信
【Side1】	なし(無効) *
【Side2】	スケルチ OFF モメンタリー *

* : お買い上げ時の設定

通話する

待受受信操作

1 【PWR/VOL】を時計方向に回して電源を ON する

「ピーッ」と鳴って電源が入ります。電源を OFF するには【PWR/VOL】を「カチッ」という音がするまで反時計方向に回します。

2 【CH】を回してチャンネルを合わせる

待受受信の状態で相手から送信されると、LED が「緑」に点灯します。

音量を調節する

3 【PWR/VOL】を回す

時計方向に回すと音量が大きくなり、反時計方向に回すと音量が小さくなります。

送信操作

4 【PTT】を押しながら話す

押しながらマイクに向かって話します。LED が「赤」に点灯し、送信状態になります。

マイクは口元から 5 cm 程度離してください。近づけすぎたり、離しすぎたりすると、受信相手が聞き取りにくくなります。【PTT】を離すと待受受信状態に戻ります。

バッテリー残量警告について・・・

バッテリーの容量が減ると、LED が「赤」に点滅し 30 秒間隔で警告音が鳴ります。この状態で【PTT】を押して送信すると警告音が鳴り、離すと止まります。

キーに割り当て可能な機能

PF キー【Side1】/【Side2】の割り当て機能

販売店の設定により【Side1】および【Side2】に以下の機能を割り当てることができます。両方のキーに同じ機能を割り当てすることもできます。

- なし（無効）
- キーロック
- キーロックステータスメモリー
- モニター
- モニターモメンタリー
- スケルチ OFF
- スケルチ OFF モメンタリー
- スキャン*
- スキャン + 一時消去*
- 一時消去*
- スクランブラー ON/OFF *

*：一般業務用無線機のみ割り当てが可能です。

お買い上げ時の割り当ては以下の通りですが、販売店により変更される場合があります。ご確認のうえ下の表にメモしておくとう便利です。

【Side1】：「なし」（無効）

【Side2】：「スケルチ OFF モメンタリー」 <→ 19 ページ >

キー	割り当て機能
【Side1】	
【Side2】	



- 各々の機能の詳細については次ページからを参照、または販売店にご相談ください。

PF(プログラマブルファンクション)

キーロック / キーロックステータスメモリー

キーが押されても、そのキーの入力を受け付けないようにロックする機能です。電源を OFF にするとキーロックは解除されますが「キーロックステータスメモリー」が設定されている場合は、キーロック機能は保持されます。

7 【Side1】または【Side2】を 1 秒以上押す

キーロックが ON になります。再度 1 秒以上押すと OFF になります。キーロック中でも以下の機能は動作します。

- 【PTT】 ● スケルチ OFF
- 【PWR/VOL】 ● スケルチ OFF モメンタリー
- モニター
- モニターモメンタリー

モニター / スケルチ OFF

手動でスケルチを開く、またはシグナリングを解除し、受信信号の状態をモニターする機能です。

7 【Side1】または【Side2】を押す

- 「スケルチ OFF」が割り当てられている場合
押す毎にスケルチが ON/OFF します。スケルチが OFF の間モニター音が聞こえ LED が「緑」に点灯します。
- 「スケルチ OFF モメンタリー」が割り当てられている場合
押している間スケルチが OFF になります。モニター音が聞こえ LED が「緑」に点灯します。
- 「モニター」が割り当てられている場合
押す毎にモニターが ON/OFF します。
- 「モニターモメンタリ」が割り当てられている場合
押している間モニターが ON になり、離すと OFF になります。

スキャン

この機能は簡易無線機では使用できません。一般業務用無線機において販売店の設定により使用可能となります。お買い上げ時の設定や機能の詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。

スキャン・プライオリティースキャン

周波数を自動的に変えて受信できる周波数を探し、信号が見つかるを受信する機能です。

1 【Side1】または【Side2】を押す

LEDが「緑」に点滅し、受信できる信号を探し始めます。もう一度押すとスキャンを終了します。信号が見つかるLEDが「緑」の点灯に変わります。

プライオリティースキャンについて

運用中のチャンネルで待受けしながら、設定されたプライオリティチャンネルを一定時間毎にチェックします。プライオリティチャンネルで信号を受信すると、スキャンを一時停止して通話する機能です。プライオリティチャンネルの設定方法は、以下の2通りです。詳しくは販売店にご相談ください。

1. 販売店により設定
2. 【CH】を回して任意のチャンネルに設定

スキャン一時消去

スキャンのときに、任意のチャンネルを一時的にスキャンから除外(スキップ)させる機能です。

1 【CH】を回して一時消去(スキップ)したいチャンネルに合わせる

2 【Side1】または【Side2】を押す

「Scan+一時消去」が割当てられている場合は1秒以上押します。



- 一時消去すると残りのチャンネルが2つ以下になるとき、およびプライオリティーチャンネルは一時消去できません。
- 電源を OFF にすると、一時消去したチャンネルは元に戻ります。
- スキャン中にバッテリーの容量が減ると、LED が「橙」に点滅します。

リバートチャンネル

リバートチャンネルとは、スキャン中に【PTT】が押されたときに送信できるチャンネルのことです。販売店の設定により以下の4種類があります。

- 「Selected」(セレクトッド)
スキャン前に設定したチャンネルで送信します。
- 「Selected + Talkback」(セレクトッド+トークバック)
スキャン前に設定したチャンネルで送信しますが、それ以外で受信またはスキャン再開前に【PTT】が押された場合はそのチャンネルで送信します。
- 「Priority」(プライオリティー)
プライオリティーチャンネルで送信します。
- 「Priority+ Talkback」(プライオリティー+トークバック)
プライオリティーチャンネルで送信しますが、それ以外で受信またはスキャン再開前に【PTT】が押された場合はそのチャンネルで送信します。

VOX 機能を使う

この機能は販売店の設定により使用可能となります。お買い上げ時の設定や機能の詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。

VOX について

マイクロホンに向かって話すだけで【PTT】を押さなくても送信に切り替わる機能です。話しをやめると自動的に待受受信にもどります。VOX 機能を使用する場合は、オプション(別売品)のヘッドセット KHS-21 または HMC-3(G) を使用してください。

設定する

1 ヘッドセットまたはマイクロホンを本体に接続する
<→ 15 ページ>

2 【Side1】を押しながら電源をONにする

3 ビープ音が鳴るまで【Side1】を押し続ける

LED が「橙」に点灯します。【Side1】を離すと VOX GAIN レベルがアナウンスされます。

4 【Side1】または【Side2】を押して VOX GAIN レベルを設定する

周りの環境や声の大きさによって、VOX 機能使用時にヘッドセットなどのマイクが感知する音声レベル (VOX GAIN レベル) を設定できます。VOX GAIN レベルは 1 ~ 10、または OFF (VOX 機能解除) に設定します。声に合わせてスムーズに送受信が切り替わるように設定してください。

1 : より大きな声に反応します。

↓

10 : 小さな声にも反応して送信します。

OFF : VOX 機能を解除します

5 【PTT】を押して設定を保存する

ビープ音が鳴り、設定した VOX GAIN レベルがアナウンスされます。

6 【PWR/VOL】で電源を OFF にし、再度 ON にする

設定が完了し、VOX が機能します。



- VOX はスピーカーマイクロホンやヘッドセットを接続しないと機能しません。
- 電池の容量が少なくなると、VOX は使用できなくなります。電池残量が少なくなったら早めにバッテリーパックを充電してください。
- HMC-3(G) を使用するときには、本体の VOX 機能が OFF になっていることを確認の上、ヘッドセット側の VOX を ON にして感度調整ボリュームを適切に設定にしてください。
- イヤホン付きクリップマイクロホン EMC-2B は【PTT】を押さないとマイクが正常に動作しないため、VOX 機能を使用することはできません。

セレコール

この機能は簡易無線機では使用できません。一般業務用無線機において販売店の設定により使用可能となります。お買い上げ時の設定や機能の詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。

セレコールについて

セレコールを使用すると、個別、グループ、スーパーバイザー（グループ代表者）、またはブロードキャスト（全局一斉）にと自由に選択して呼び出すことができます。

セレコールの呼び出しを受けると、各々の呼び出し音が鳴りLEDが「橙」に点滅します。

個別呼び出し

相手局を個別に呼び出して通話できます。

グループ呼び出し

任意のグループを呼び出して、グループ内すべての相手と通話できます。

スーパーバイザー（グループ代表）呼び出し

違うグループの同じIDの相手呼び出して通話できます。

ブロードキャスト（全局一斉）呼び出し

すべての相手局を呼び出して、すべての相手と通話できます。



- 以下の機種とはセレコールによる通話ができません。
 - ・ TCP-123 ・ TCP-223 ・ TCP-523
 - ・ TCP-133W ・ TCP-223W

その他の機能

本機には次のような機能もあります。これらの機能は販売店においてのみ設定可能です。詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。

● バッテリーセーブ

電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約 5 秒間キー操作がないと、この機能が働きます。信号を受信するか、キー操作が行われるとバッテリーセーブは解除されます。

● CTCSS

CTCSS (Continuous Tone Coded Squelch) とは、音声信号に CTCSS 周波数を付加して送信し、自局と相手局で CTCSS 周波数が一致した時に、スケルチが開き受信できる機能です。特定の相手局と交信したい時にご利用ください。選択できる CTCSS 周波数は 38 波です。

● DCS

DCS (Digital Coded Squelch) とは、あらかじめ相手局と決めておいた DCS コードを音声信号に付加して送信します。

自局と相手局で DCS 周波数が一致した時に、スケルチが開き受信できる機能です。特定の相手局と交信したい時にご利用ください。選択できる DCS 周波数は 83 種類です。

● 送信出力

送信出力は High または Low に設定できます。お買い上げ時の設定は「High」です。

● ビートシフト

受信する周波数により内部ビートが発生し、スケルチが開いてしまう場合などに、マイコンのクロック周波数を変化させて内部ビートを抑え、受信に影響を与えないようにする機能です。

● ボイスアナウンス

チャンネルを切り替えたときに、英語による音声でそのチャンネルをアナウンスする機能です。

● スクランプラー

音声にスクランブルをかけて、他人に通話を傍受されても内容が分からないようにする機能です。※一般業務用無線機のみ使用可能です。

● スケルチレベルの設定

スケルチ(信号のないチャンネルを受信した時に聞こえる雑音をなくす機能)のスレッシュホールドレベルを9段階から調整します。お買い上げ時の設定は5です。

● コンバンダ

雑音を抑えて、音声のみを明瞭にする機能です。使用する場所の周りが騒がしく、音声聞き取りにくい場合に設定します。この機能を使用するには、送信側と受信側の双方がこの機能を設定する必要があります。

● タイムアウトタイマー(連続送信防止機能)

設定された時間が経過すると、連続送信を自動的に停止する機能です。設定された時間を過ぎても【PTT】を押し続けると警告音が鳴り、離すと停止します。送信を続けたいときは一度【PTT】を離してから再度押し直してください。

● ビジーチャンネルロックアウト

送信しようとしているチャンネルを他の局が使用中の場合は、そのチャンネルでの送信を禁止する機能です。

● PTT プロシードトーン

【PTT】を押した後、交信可能な状態になるとこのトーンが鳴ります。

● 確認音(ビープ)を鳴らさないようにする

キー操作をしたときに鳴る確認音をビープ音といいます。この機能を「OFF」に設定すると、ビープ音を鳴らさないようにできます。ただし、バッテリー残量警告音などの各種警告音はこの機能のON/OFFと関係なく鳴ります。

運用上の注意

● 免許状

無線局免許状は必ず無線機のそばに備えてください。

● 使用上の制限

通話は免許状に記載された次の事項の範囲内で行わなければなりません。

1. 無線局の目的
2. 通信の相手方
3. 通信事項

また、無線機は他人に貸したり、他人のために使用することは原則としてできません

● 免許の有効期限

免許状に記載してある有効期間が過ぎると、無線局の運用はできません。

再免許の申請

引き続き運用する場合は、有効期間が終了する6ヶ月前から3ヶ月前までの間に、再免許の申請をしなければなりません。

免許ならびに再免許の手続きはお買い上げの販売店にご相談ください。

● 免許の申請その他の手続き

免許の申請や下記の手続きは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 再免許の申請
- 免許証の記載事項に変更が生じる場合の手続き
- 免許証が破れたり、汚れたり、紛失した場合の再交付申請
- 無線設備を変更したり、新しいものに替える場合
- 無線局を廃止する場合
- その他

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因	処 置	参照 ページ
●電源が入らない	電池が消耗している	充電する	11
		予備のバッテリーパックや新しいバッテリーパックと交換する	10
●受信できない ●【PWR/VOL】を回しても音が出ない	【PTT】が押されて送信中になっている	【PTT】を離す	17
	シグナリング・スケルチ (CTCSS/DCS) のコードが違う	販売店にご相談ください	25
	受信波が弱い	【Side2】「スケルチ OFF モメンタリー」を押す	19
送信ができない	受信している	チャンネルを変更するか、LEDの「緑」点灯が消えるのを待つ	17
	スピーカーマイクロホンの接続が外れている	スピーカーマイクロホンを接続する	15
	タイムアウトタイマー (連続送信防止機能) またはビジーチャンネルロックアウトが働いている	販売店にご相談ください	26
●チャンネルが切り換わらない ●どのキーを押しても機能しない	キーロックになっている	キーロックを解除する	19

オプション（別売品）について

本機には、次のようなオプション（別売品）が用意されています。

- ・ KNB-45L.....充電式リチウムイオンバッテリーパック
- ・ EMC-2B.....イヤホン付きクリップマイクロホン
- ・ KMC-21.....スピーカーマイクロホン
- ・ KMC-17.....スピーカーマイクロホン
- ・ HMC-3(G)ヘッドセット (VOX/PTT 付き)
- ・ KHS-21ヘッドセット



- 製品名のあとに (G)、(C) と表記されている商品がありますが、これらも表記の無い商品と同一製品です。
- 本機に使用できるオプション製品が追加されたり、生産が終了することがあります。オプション製品についてはカタログ等を参照してください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

保証について

● 保証書 (別添)

この製品には、保証書を (別途) 添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より **1 年間** です。

修理を依頼されるときは

「故障かな? とと思ったら」(28 ページ) を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。(別紙 “ケンウッド全国サービス網” をご参照ください。)

修理に出された場合、設定されたデータが消去される場合がありますので、別途お客様御自身でお控え下さいますようお願いいたします。また、本機の故障、誤動作、不具合等によって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、ケンウッドは一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は・・・

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

本機以外の原因 (衝撃や水分、異物の混入など) による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は・・・

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

・補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

● 修理料金の仕組み (有料修理の場合は次の料金が必要です。)

技術料: 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代: 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

送料: 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

仕様

機種名	TCP-101		TCP-201	
型式名	TCP-101CT	TCP-101FT	TCP-201CT	TCP-201FT
送信出力	1W/ 5W		1W/4W	
チャンネル数	8		16	
周波数	許可された9波	136 ~ 173.980MHz	許可された35波	450 ~ 469.9875MHz
電波型式	F3E/F2D	F3E	F3E/F2D	F3E
消費電流	送信時	2.0 A		
	受信時	250mA		
	受信待受時	75mA		
使用電源	7.5 V DC ± 20 %			
寸法 (突起含まず)	54(幅) × 122(高さ) × 33(奥行) mm			
質量(重さ)	約 315g (ベルトクリップ/付属バッテリーバックを含む)			

※仕様は予告なく変更することがあります。

周波数対応表（業務用無線機ご使用時の設定周波数も記入できます）

● TCP-101【チャンネル・周波数対応表】

無線機のチャンネル No.	設定周波数 (MHz)
1 ch	
2 ch	
3 ch	
4 ch	
5 ch	
6 ch	
7 ch	
8 ch	

● TCP-201【チャンネル・周波数対応表】

無線機のチャンネル No.	設定周波数 (MHz)	無線機のチャンネル No.	設定周波数 (MHz)
1 ch		9 ch	
2 ch		10 ch	
3 ch		11 ch	
4 ch		12 ch	
5 ch		13 ch	
6 ch		14 ch	
7 ch		15 ch	
8 ch		16 ch	

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114

（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）

携帯電話・PHS・IP 電話からは、045-933-5133

FAX 045-933-5553

住所 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山 1-16-2

受付日 月曜日～土曜日（祝祭日・弊社休日を除く）

受付時間 月曜日～金曜日 9:30～18:00

土曜日 9:30～12:00、13:00～17:30

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または最寄りのケンウッド・サービスセンターにご相談ください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）